**■旅行関連（温泉を取り上げる頻度の多い）雑誌の変遷**

●『旅』――1924年創刊～1943年（日本旅行文化協会）、1946年～2003年（日本交通公社→JTBパブリッシング）、2004年～2012年（新潮社）に休刊

●『旅行読売』――1966年創刊（読売旅行会、現読売旅行）、1972年から旅行読売出版社

●『an・an（アンアン）』――1970年創刊（旧平凡出版、現マガジンハウス）

●『non－no（ノンノ）』――1971年創刊（集英社）

●『週刊旅行ホリデー』――1973年創刊（学習研究社）…休刊

●『るるぶ』――1973年創刊（日本交通公社）→2004年から国内旅行情報の掲載誌を『るるぶじゃぱん』に一本化したが、2006年10月号で休刊。

●『旅の手帖』――1977年創刊（弘済出版社→交通新聞社）

※1970年3月～9月に日本万国博覧会（大阪万博）開催。その後を受けて、日本国有鉄道（国鉄）が個人旅行客の増大を目的に展開した個人旅行拡大キャンペーンが「ディスカバー・ジャパン」で、1970年10月～1976年12月まで実施された。1970年のキャンペーン開始に歩調を合わせ、旅番組「遠くへ行きたい」も放送開始。

　そして、この動きに合わせて創刊された『an・an（アンアン）』『non－no（ノンノ）』は、ファッションモデルが小京都や宿場町を訪ねる形式の特集を組み、若い女性客の集客に大きな影響を与え、「アンノン族」現象を生み出した、また、「団体旅行から個人旅行へ」という動きにも拍車をかけた。

●『BE－PAL』――1981年創刊（小学館）

●『るるぶ情報版』――1984年創刊（現JTBパブリッシング）

●『まっぷる』――1989年創刊（昭文社）

●『サライ』――1989年創刊（小学館）

●『じゃらん』――1990年創刊（リクルート）

●『温泉四季』――1991年創刊（西北社）、日本初の温泉専門誌も翌年3号で休刊

●『男の隠れ家』――1997年創刊（あいであ・らいふ→朝日新聞出版→三栄書房）

●『一個人』――2000年創刊（KKベストセラーズ）

●『自遊人』――2000年創刊（自遊人）

●『ノジュール』――2006年創刊（JTBパブリッシング）定期読者に直販のみ

●『温泉批評』――2013年創刊（双葉社）。日本初の温泉評論誌。春秋2回の発行だったが、2018年から年1回の発行に。